

「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」の策定について

町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」(2012～2021年度)及び「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」(2016～2055年度)に基づき、「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」を策定します。

本ビジョンの計画期間は、現在策定を進めている新たな町田市基本構想・基本計画「(仮称) まちだ未来づくりビジョン2040」の計画の期間と合わせ、2039年度までを計画期間(2021～2039年度)とします。

1 計画策定の目的・背景

町田市の公共施設の多くは、建設後30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。また、人口減少や少子高齢化の加速による市税収入の減少が見込まれることにより維持管理経費の財源確保が非常に困難な状況となるため、長期的な視点に立った公共施設のあり方の検討が急務となっています。市民センター等(市民センター、コミュニティセンター、市民フォーラム)の集会施設についても、老朽化が著しく、他の公共施設と同様に今後のあり方の検討が必要となっています。

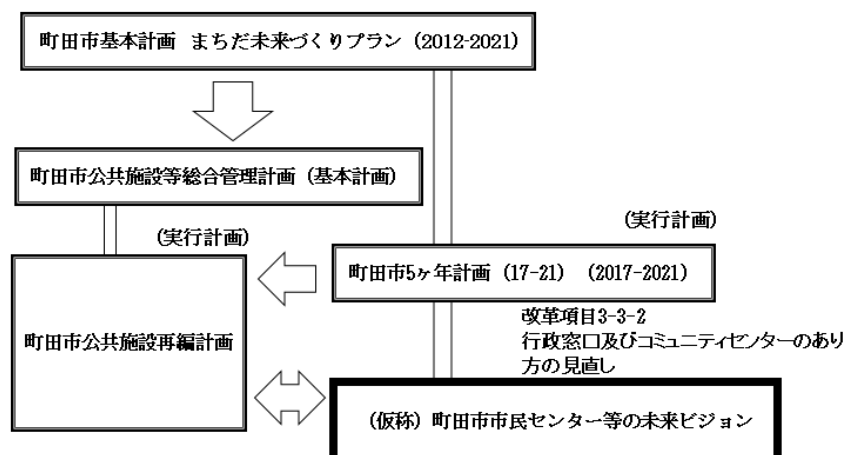
行政窓口についても、ICTやAI等のデジタルテクノロジーの進歩によるデジタル社会の進展により、今後急速に手続きのオンライン化が進むものと考えられます。また、マイナンバーカードの普及によるコンビニエンスストアでの証明書自動交付サービスの取扱件数も年々増加しており、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に行政手続きが可能となるなど、行政サービスが大きく変化することが想定されます。

そこで、限られた財源の中で社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等の機能のあり方について示す「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」を策定します。

2 計画の位置づけ

「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」を受けて、将来的な市民ニーズや環境変化を見据えた行政窓口・集会施設における行政サービスのあり方について示す計画です。

(計画体系図)



3 計画の方向性・考え方

これまで市民センター等は、身近な行政窓口として、また地域コミュニティ活動拠点として市民に親しまれてきました。

新たな計画の策定にあたっては、これらに加え、将来的な市民ニーズや課題を的確に把握したうえで行政窓口や集会施設におけるより良い行政サービスのあり方について検討を進めます。

(現状と課題)

- ① 財政のひっ迫、公共施設の老朽化、維持管理費の増大
- ② 施設機能毎の考え方としての施設再編
- ③ 行政窓口のデジタル化への対応
- ④ 利便性の向上
- ⑤ 市民センター等の将来的な役割の変化

4 計画策定体制

計画策定にあたり、計画の骨子や素案について多角的な視点からご意見をいただくため、学識経験者、町田市町内会・自治会連合会の代表、町田市市民センター等の運営に関する経験及び識見を有する者、公募による市民により構成する「町田市市民センター等のあり方検討委員会」を設置します。

5 スケジュール

2020年度	検討委員会	議会・意見募集等
7月	第1回（20日） ・計画策定の目的と背景 ・市民センター等の現状と課題 ・検討スケジュール ・計画の方向性の議論	
8月		
9月	第2回（中旬） ・計画の方向性 ・ワークショップ等の実施状況 ・計画の構成の議論 ・行政窓口・集会施設の行政サービスのあり方の議論	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ・インタビュー等（8～11月） 対象：各地区協議会、各市民センター等の利用団体、市内の高校生・大学生、無作為抽出による市民
10月	第3回（中旬） ・計画の構成 ・ワークショップ等の実施状況 ・行政窓口・集会施設の行政サービスのあり方の議論	
11月	第4回（中旬） ・ワークショップ等の結果 ・市民意見募集の実施内容 ・素案のまとめ	
12月		<ul style="list-style-type: none"> ・議会行政報告 ・市民意見募集
1月		
2月	第5回（中旬） ・市民意見募集の結果 ・計画（案）のまとめ ・報告書完成	
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・議会行政報告

※各検討委員会の開催月には別途庁内関係部との意見交換を行う。